

第25回 九州低炭素システム研究会セミナー

政府が推進するGXの実現に向け、2023年度に成立したGX推進法や、2025年2月に閣議決定されたGX2040ビジョンなどを背景に、脱炭素化の取組は一層加速しています。

本セミナーでは、企業・大学それぞれの第一線で活躍する講師を迎え、カーボンニュートラル戦略、油田を活用した脱炭素技術、バイオ炭の活用など、多様な切り口から脱炭素社会の実現に向けた実践事例をご紹介します。

地域における脱炭素技術の社会実装に向けた取組のヒントとなれば幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

2026

日時

7/8 水
13:00～16:00

会場

AIMビル 3F会議室 311・312
(福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1)
※西日本総合展示場 隣接

定員：80名

プログラム

※セミナー申込みは裏面にあります。

| | |
|-------|--|
| 13:00 | <開会挨拶> 九州経済産業局 |
| 13:05 | <講演①> 「レゾナックのカーボンニュートラル戦略～取組事例紹介～（仮題）」 株式会社レゾナック 研究開発企画部 シニア・プロフェッショナル 奥村 吉邦 氏 |
| 13:50 | <講演②> 「脱炭素社会における石油の新たな役割～油田を活用した脱炭素技術～（仮題）」 九州大学大学院工学研究院 地球資源システム工学部門 資源開発工学研究室 教授 菅井 裕一 氏 |
| 14:35 | <休憩> |
| 14:45 | <講演③> 「バイオ炭と炭素除去およびバイオ炭農地施用を通じた地域開発（J-クレジット取得と環境保全農作物）（仮題）」 立命館大学 日本バイオ炭研究センター 名誉センター長（上席研究員） 博士（政策科学） 柴田 晃 氏 |
| 15:30 | <情報提供> 最近のGX関連施策の御紹介 九州経済産業局 |
| 15:35 | <閉会> |
| 15:45 | <名刺交換会> セミナー終了後、16:00まで会場にて名刺交換会を実施します |

主催

九州経済産業局、国立大学法人九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター、一般社団法人日本エネルギー学会西部支部

登壇企業・講師のご紹介

奥村 吉邦 氏

株式会社レゾナック 研究開発企画部
シニア・プロフェッショナル

1992年4月に昭和電気（株）に入社、大分石油化学コンビナートの大分研究所や技術開発部で触媒研究や分離剤開発に従事。2001年～04年にはドイツのBasell Polyolefinsで触媒開発プロジェクトに参画。2022年からGI基金のMOFを利用した工場排ガスからのCO₂分離回収技術開発にも従事。2022年より研究開発企画部で長期R&D戦略企画を担当し、現在に至る。



菅井 裕一 氏

九州大学大学院工学研究院 地球資源システム工学部門
資源開発工学研究室 教授

2001年に東北大学大学院にて博士（工学）を取得後、秋田大学を経て、2005年に九州大学へ着任。2020年より現職。石油・天然ガスを中心とした地下資源の開発・生産工学を専門とし、その知見をCO₂地中貯留や枯湯油・ガス田における水素の製造・貯蔵技術へ展開するなど、地下を活用した脱炭素技術の研究に取り組んでいる。



柴田 晃 氏

立命館大学 日本バイオ炭研究センター
名誉センター長（上席研究員）、博士（政策科学）

1975年立命館大学経営学部卒業後、製薬会社に勤務し、その傍ら立命館大学政策科学研究科前期・後期課程修了、2002年博士（政策科学）。2006年製薬会社取締役退任後、立命館大学衣笠総合研究機構・OIC総合研究機構および総合地球環境学研究所客員教授を歴任。2017-2019年環境省 バイオ炭の活用による吸収源検討会 第1回・第2回・第3回（検討委員）、2019-2023年日本炭化学会会長。2026年現在立命館大学上席研究員、日本バイオ炭普及会事務局長、一般社団法人日本クルベジ協会 代表理事。バイオ炭研究は40年以上、熱分解からマーケティングまで幅広く活動中。



お申し込みについて

- **申込方法**：以下のURL又は右記2次元バーコードから参加登録をお願いします。

<https://eco-t.solution-expo.jp/seminar.php#102>

- **締切**：定員に達し次第終了とさせていただきます



お問合せ先

セミナーの内容についてのお問合せ

九州経済産業局資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 担当：池田、徳安 TEL：092-482-5513

ご提供いただいた個人情報は、事務局（九州経済産業局、国立大学法人九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター、一般社団法人日本エネルギー学会西部支部）及び講師が、本セミナーの運営においてのみ使用し、事務局においてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局及び講師以外の第三者に開示、提供することはありません。